



2020年12月期 第1四半期  
**決算説明資料**

2020年5月13日

## 資料取扱い上のご注意

このプレゼンテーションで述べられているAppBank株式会社の業績予想、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものです。

マクロ経済や当社の関連する業界の動向、新たな技術の進展等によっては、大きく変化する可能性があります。

従いまして、実際の業績等が本プレゼンテーションと異なるリスクや不確実性がありますことをご了承下さい。また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。

**I. 2020年12月期第1四半期業績実績**

**II. 2020年12月期通期業績予想**

# I. 2020年12月期第1四半期業績実績

## II. 2020年12月期通期業績予想

## メディア事業

- 動画視聴回数の減少や広告単価の下落、BotB売上の進捗遅延等により売上高が大きく減少し、セグメント損失は拡大。

### 【既存事業】

- ・ 純広告、動画広告、アドネットワーク広告など全般的に、前年同期と比べ売上高減少。
- ・ 前期までの投資抑制等の影響により縮小したコンテンツ制作体制及び営業体制を再建中。
- ・ メディアの再成長戦略を策定し、幹部人材の採用及び外部パートナーとの提携を実施。2020年1月以降、「AppBank.net」のPVは増加基調。
- ・ 「マックスむらいチャンネル」は視聴回数が減少するも、企画・制作体制を再構築。

## ストア事業

- 引続きEコマースが伸長する一方で店舗売上は減少。コスト増加により営業利益率は低下。
- 2020年3月末、保有全株式の譲渡を実施。今後は連結対象外。

### 【Eコマースサイト・店舗】

- ・ Eコマースサイトは商品ラインナップ拡充、モール店の好調により前年同期と比べ売上高増加。
- ・ 店舗は新型コロナウイルスの影響、閉鎖による店舗数減少などにより売上高減少。

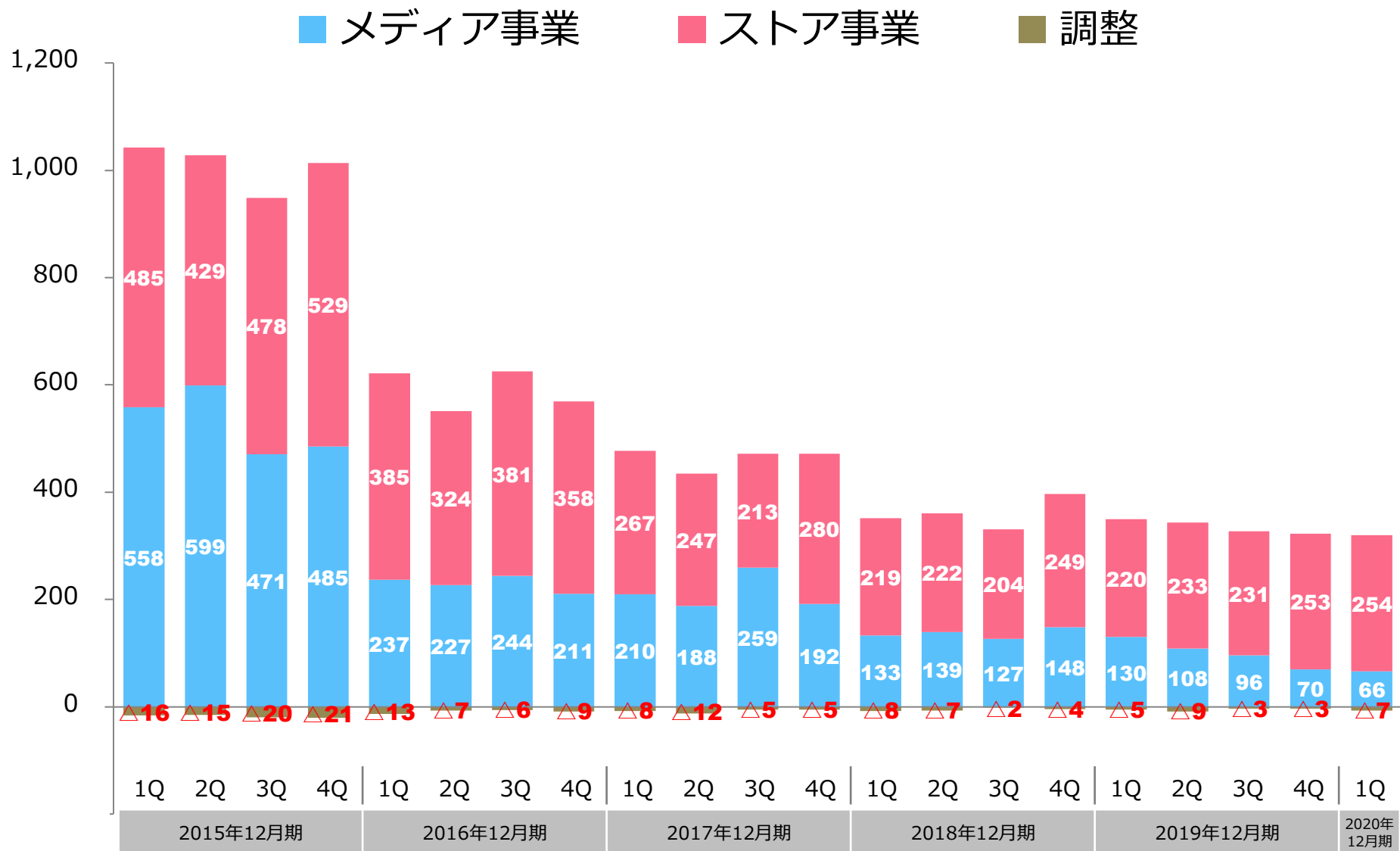
# 2020年12月期第1四半期 損益状況

単位：百万円 下段：売上高比	2019年12月期 第1四半期	2020年12月期第1四半期		
			前年同期比	増減額
売上高	<b>345</b>	<b>313</b>	△ <b>9.3%</b>	△ <b>32</b>
メディア事業	<b>130</b> (37.7%)	<b>66</b> (21.1%)	△ <b>49.3%</b>	△ <b>64</b>
ストア事業	<b>220</b> (63.8%)	<b>254</b> (81.2%)	<b>+15.5%</b>	<b>+34</b>
セグメント間取引消去	△ <b>5</b> (△1.5%)	△ <b>7</b> (△2.3%)	－%	△ <b>1</b>
売上総利益	<b>164</b> (47.7%)	<b>125</b> (40.0%)	△ <b>23.9%</b>	△ <b>39</b>
販管費	<b>170</b> (49.4%)	<b>166</b> (53.1%)	△ <b>2.5%</b>	△ <b>4</b>
△：営業損失	△ <b>5</b> (－%)	△ <b>41</b> (－%)	－%	△ <b>35</b>
△：経常損失	△ <b>6</b> (－%)	△ <b>42</b> (－%)	－%	△ <b>35</b>
親会社株主に帰属する △：四半期純損失	△ <b>8</b> (－%)	△ <b>94</b> (－%)	－%	△ <b>86</b>

売上高：ストア事業は前年同比增加するも、メディア事業は減少  
 売上総利益：メディア事業で製造原価が低下するも、売上高減少の影響大きく、売上総利益は減少  
 販管費：ストア事業でコスト増加するも、メディア事業のコスト減少により、連結ベースで減少  
 営業損失：主にメディア事業の売上減少の影響で営業損失が拡大  
 四半期純損失：連結子会社AppBank Store株式の譲渡損56百万円（特別損失）計上

# 事業別状況：売上高 四半期推移

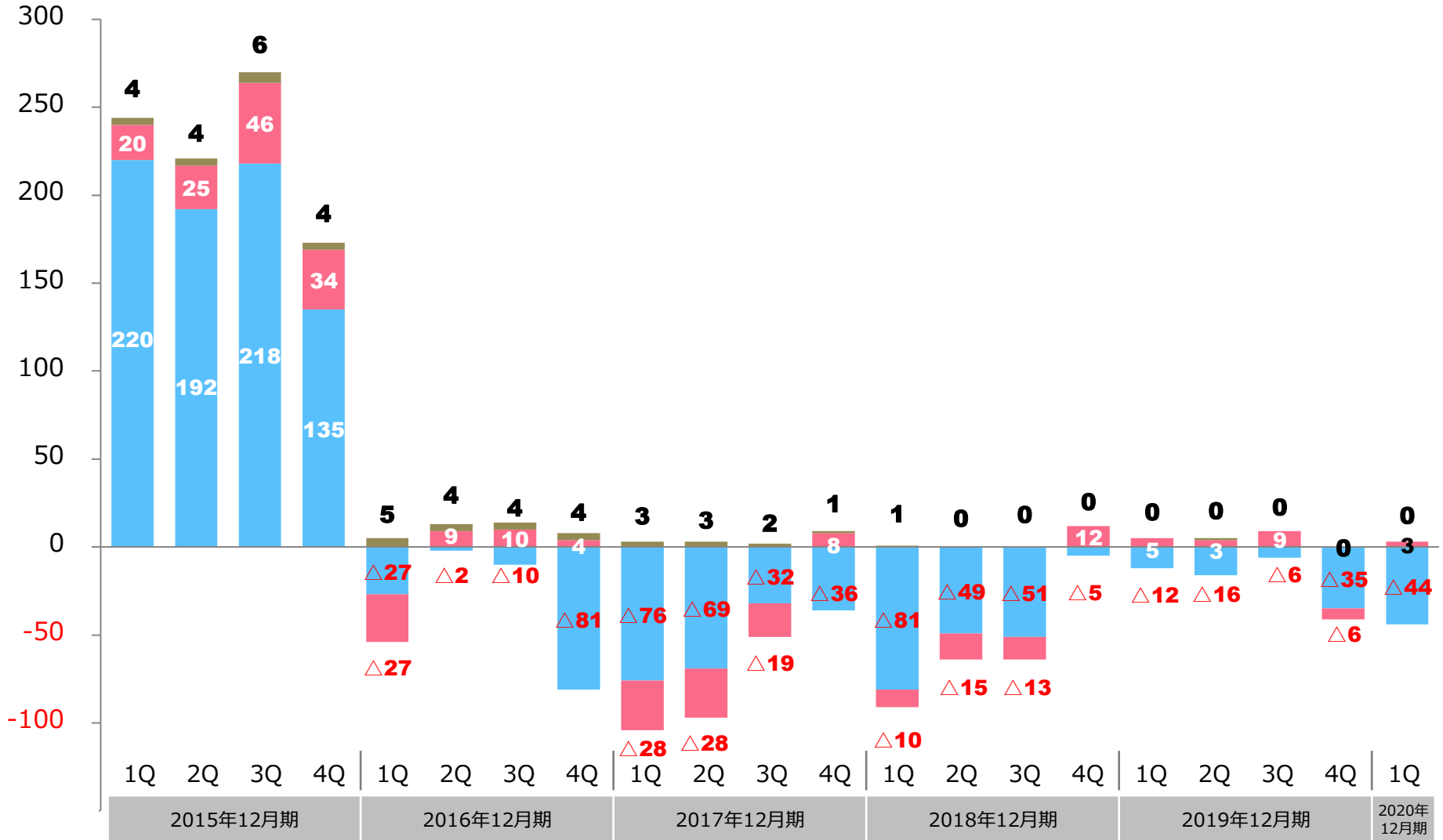
単位：百万円



# 事業別状況：営業利益 四半期推移

単位：百万円

■ メディア事業      ■ ストア事業      ■ 調整





単位：百万円 下段：売上高比	2019年12月期 第1四半期	2020年12月期第1四半期		
			前年同期比	増減額
売上高	<b>130</b>	<b>66</b>	<b>△49.3%</b>	<b>△64</b>
売上総利益	<b>64</b> (49.8%)	<b>24</b> (36.9%)	<b>△62.4%</b>	<b>△40</b>
販管費	<b>76</b> (59.0%)	<b>69</b> (104.5%)	<b>△10.1%</b>	<b>△7</b>
△：営業損失	<b>△12</b> (-%)	<b>△44</b> (-%)	<b>-%</b>	<b>△32</b>

- ・売上高：純広告、動画広告、アドネットワーク広告など全般収益が大幅減少
- ・売上総利益：製造原価が減少するも売上高減少の影響大きく、前年同期比62%減
- ・販管費：人件費を始めとするコスト圧縮により、前年同期比10%削減
- ・営業損失：売上高の減少を費用圧縮で吸収できず、損失額拡大

単位：百万円 下段：構成比	2019年12月期 第1四半期	2020年12月期第1四半期		
			前年同期比	増減額
売上高	<b>220</b>	<b>254</b>	<b>+15.5%</b>	<b>+34</b>
売上総利益	<b>104</b> (47.7%)	<b>107</b> (42.4%)	<b>+2.8%</b>	<b>+2</b>
販管費	<b>99</b> (45.1%)	<b>104</b> (41.3%)	<b>+5.6%</b>	<b>+5</b>
営業利益	<b>5</b> (2.6%)	<b>3</b> (1.2%)	-%	<b>△2</b>

- ・売上高：Eコマースサイト売上伸長で、店舗売上減少するも合計売上高は増加
- ・販管費：Eコマースサイト売上伸長に伴い、運賃及び支払手数料等も増加
- ・営業利益：売上高増加するもコスト増加が上回り、営業利益率は低下

# 2020年12月期第1四半期 財務状況

単位：百万円 下段：構成比		2019年12月期末		2020年12月期第1四半期末	
					前期末増減額
資産	流動資産	<b>1,036</b> (95.9%)	<b>756</b> (98.7%)		△280
	固定資産	<b>44</b> (4.1%)	<b>9</b> (1.3%)		△34
資産合計		<b>1,081</b> (100%)	<b>766</b> (100%)		△314
負債	流動負債	<b>350</b> (32.5%)	<b>165</b> (21.5%)		△185
	固定負債	<b>29</b> (2.7%)	— (—%)		△29
負債合計		<b>380</b> (35.2%)	<b>165</b> (21.5%)		△215
純資産合計		<b>700</b> (64.8%)	<b>601</b> (78.5%)		△99
負債純資産合計		<b>1,081</b> (100%)	<b>766</b> (100%)		△314

- ・ 資 産 : (流動資産) 現預金△164〔内、△120は株式譲渡したストア事業に起因〕  
売掛金△84、商品△47  
(固定資産) 敷金△29
- ・ 負 債 : (流動負債) 買掛金△72、1年以内返済予定借入金△66、未払費用△24、未払金△11  
(固定負債) 長期借入金△23
- ・ 純資産 : 親会社株主に帰属する四半期純損失計上△94、新株予約権△3

I. 2020年12月期第1四半期業績実績

**II. 2020年12月期通期業績予想**

**2020年3月31日 | 当社連結子会社 株式会社AppBank Storeの株式譲渡実行  
⇒ 2020年12月期第2四半期より連結の範囲から除外**



## **業績の予想を非開示**

**四半期ごとに実施する決算業績及び事業の概要のタイムリーな開示に努める  
業績予想は、今後、合理的な業績予想が開示できる状況になる場合に速やかに開示**

